

— 會 告 —

1. 第37回(春季)講演大會講演申込締切期日は1月31日です
期日に遅れぬやう、1,000字程度の講演大要(内容の要領を充分に表はしたる)を添え至急御送付下さい。
2. 本誌の合告や又書面を以て度々御催促申上げて來ましたが、未だに會費御納入なき會員 1,200名に對し本誌から會誌の發送を取止めました。悪しからず御諒承下さい。若し本件に關し御不審の方は至急當協會へお尋ね下さい。(御注意：會費未納の金額が不明の理由で御送金ない方は不取敢舊題 12月號で差上げてある振替用紙で先づ今回お納めになる會費丈けでも御納入を願ひます。然すれば後刻詳しく御相談申上げます)。

東海支部講演會及總會開催御案内

會員 殿

日本鐵鋼協會東海支部

期 日 昭和 24 年 1 月 30 日 (日) 午前 9 時より
會 場 名古屋市昭和區廣池町 名古屋大學工學部

講演會及總會次第

- | | | |
|-----|-----------------------------|-----------------------------------|
| 1. | 開 會 之 辭 | |
| 2. | マグネシウム合金の時効に就て (第1報) | 日本金屬學會理事 武田 修三君
名古屋大學工學部 西 成基君 |
| 3. | マグネシウムの再結晶現象に就て | 愛知工專 市川 理衛君 |
| 4. | 亜鉛の鑄造組織並に機械的性能に及す添加元素の影響に就て | 扶桑金屬伸銀所 山田 史郎君
○河内 利平君 |
| 5. | ピストン用各種輕合金鑄物の諸性質の比較 | 三菱重工業名古屋機器製作所 松居 菊千代君 |
| 6. | 通 常 總 會 | |
| 7. | 登 食 | |
| 8. | 鑄鐵中に於ける硅酸核の安定性に就て | 名古屋大學工學部 佐野 幸吉君
○坂 尾 弘君 |
| 9. | 鐵-クロム系のσ相並に規則格子に就て | 名古屋大學工學部 武田 修三君
○永 井 直記君 |
| 10. | 代用鍛 劑に就て | 大同製鋼星崎工場 久保田 全俊君 |
| 11. | パネ鋼に就て | 愛知製鋼 木村 富士信君
○樋 田 章君 |
| 12. | 炭坑用三連鐵鎖に就て | 大同製鋼築地工場 郡 勇君 |
| 13. | 延伸加工せる低炭素鋼棒の燒鈍に依る長さの増減に就て | 名古屋大學工學部 關口 春次郎君
○稻 垣 道夫君 |
| 14. | 閉 會 之 辭 | 日本鐵鋼協會評議員 綿 織 清治君 |

工 場 見 學 (希望者は講演會場にて申込まれたし)

期 日 昭和 24 年 1 月 31 日 (月)

工 場 愛知製鋼刈谷工場 豊田自動織機刈谷工場 トヨタ自動車刈谷工場等